

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーのマジック



縦から横へ
横の繋がりで感動を創ろう

RI会長 ステファニーA・アーチック 2024~2025

富津中央RC会長 神子 恒

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2803 第38例会 2025. 4. 24 晴

点 鐘 : 神子 恒 会長
進 行 : 栗原典子 SAA
ソング : 四つのテスト

会長挨拶

神子 恒 会長



皆様今日は、今週は、如何でしたでしょうか、明るく楽しい、希望に満ちた一週間をお過ごしに成られたことと存じます。今週の私は、田植えに、忙しく過ごさせて頂きました。台風被害で、ビニールハウス全滅以来、復旧せずに、苗の生産を地区農協に委託し、日時を指定し、受け取りに行く様にしてから、掛かる労力を減らして居りますので、田植えのこの時期、急に忙しく成り、バタバタと動き回り多く、準備を整え、田植えに取り掛かりました処、もちろん手植えではありません、機械での田植えです。

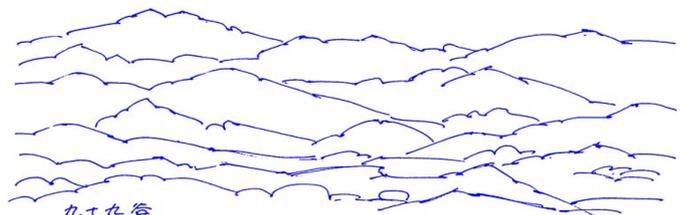
田植え機のカセットに、苗を差し込みセット、綺麗に代掻きされた田圃に、如何にして、此の苗を植えようか、田植え機を如何にして稼働させようか、自分

の頭の中に、苗の植わった絵姿を描き出し、縦横走行するべき方向を決め、水田に侵入し早苗の緑の列を描きながら進むに連れて、飛ぶ妻の声(右に・左に偏りました。カセットの苗が少なくなりました)等々の声に助けられ、「何が右・左・苗は警告ブザー一音が教えてくれますよ！」一枚目の田の植え付け完了。黒かった田に、苗が植え付けられ、爽やかな柔らかい緑の色に変わった其の様に、感動を覚えて、頬が少し緩む楽しみを感じ、一人上手く出来た。「勿論人の評価は。上では無く、中・下でありましょう。」次の田に。

繰り返す中、妻の手伝いもあり、今年も無事田植えが、全て終了致しましたが、と報告致したいのですが、お正月用の御餅の為に、私は、小さな田んぼ一枚、餅米用に、自分で種をまき、苗を用意しておりますが、今だ、植え付けるには、早くその時期ではない為、小さな田一枚残しての終焉でした。「美味しい餅の為に、一から全て自分の手で！」



〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館
Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
293-0043
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



九十九谷

幹事報告

朝月真次郎 幹事



1. 「風の便り」Vol. 10 No. 9回覧。
2. MCRレポート3月期回覧。
3. ロータリーの友誌5月号回覧。
4. フェアウェルパーティーの案内回覧。
5. 米山学友会より「ピクニック交流会2025」の案内回覧。

また5月15日の移動例会に関しましては、新舞子海岸の朝月会員宅で行いますので、出欠の確認表を別途回覧いたします。

委員会報告

『ロータリー旗争奪少年野球大会について』

相川恵津子 奉仕プロジェクト副委員長



皆さんこんにちは。この前の日曜日中学校の春季野球大会がありました。神子会長と山下委員長が出られない為、代理で行ってまいりました。

春ということで身長之差が随分バラバラなのと女子がメンバーに入っているのに驚きました。結果は富津中が7-0で勝ちました。富津シティさんも来られなくて一人で心細かったのですが楽しめました。

主催者側にはロータリーのおかげで備品が買えます。また応援よろしくと言われました。

委員会報告

『次年度予定等について』

岡田良弘 会長エレクト



次年度の日程が以下のように決まりました。

2025年4月18日 場所 中国料理木更津東洋
次年度ガバナー補佐訪問 7月17日・10月30日
ガバナー公式訪問 11月13日
地区大会 10月11日・10月12日
地区ゴルフ大会 9月29日
南総里見八犬伝 イベント10月26日
ブルーベリーラン 10月5日
情報研究会 11月7日

会員卓話

『政治風土と日本経済“日本の実力”』

渡辺 務 会員



1. 貿易を含めた経常収支について
先ず貿易と投資の動向という話から
・2012後半～2019迄 アベノミクスの円安誘導は、日本の価値を大きく下げってしまった。国際競争力も労働生産性も先進諸外国に大きく水をあけられてしまった。
・証券取引所 上場株式時価総額 2012年301兆円⇒2019年673兆円・異次元金融緩和で市中

に出回った現金が株式市場に回った。しかし金融緩和の副作用として円安が進み、輸入燃料や、食料資材の高騰で2022年は16兆円の貿易赤字。家計や原材料輸入企業の採算を悪化させた。さらにはドル換算でもGDPを下げている要因だ。

・経常収支 2022年の10兆7144億円から2023年は20兆6295億円と黒字幅が増加している。

表0

・貿易収支は2011年を契機に輸入額が輸出額を超過する「貿易赤字」となっている。表1

2022年は過去最大の貿易赤字だったが主因は円安の進行による円建て輸入物価の上昇だ。

2023年は原材料の輸入価格は落ち着いて推移しているが輸出についてはわずかに増加してはいる。乗用車の輸出が主たる品目である一方で、化学製品や電気機器(半導体)などが減少の要因となっている。サービス収支は個人・文化・娯楽サービスや通信・コンピュータ、情報サービス分野で赤字の半面、旅行収支は過去最大の黒字であるが、貿易収支は全体としては3兆2026億円の赤字だった。いわゆる第一次所得収支と言われる資本収支、特に証券投資と直接投資収益が経常収支を大きくプラスに向かわせている。

結果、2023年の経常収支は20兆6295億円の黒字となっている。

日本の国際競争力が失われたのであれば、経常収支が半減するとか、マイナスになるということにならなければいけないが、現状はそうではない。20,6兆円の黒字だ。

つまり異次元の金融緩和を続けたことで、輸出を増やして大企業をもうけさせて、その利益が中小企業や地方にも及ぶという「トリクルダウン」の期待は失敗に終わった。地方の疲弊が大きく進んでしまった。喜んでいるのはドルと株式を保有する資産家だけという状況が顕著になってきた。

・株価の上昇は内需をもたらさないし、株価が下落しても内需は減らない。

株価と個人消費というのは大きな関連性は現れない。

MMT(現代貨幣論者)論者の言うように、国が借

金を重ねて「景気対策」をやって「それが経済対策だ」と言っても、その支出が末端消費者や給与所得者に届く前に一部企業や機関投資家に中抜きされてしまう政策は早く是正されなければいけない。今回のトランプ大統領の政策は凶らずも、世界経済の再編の端緒となるのではないかと？

2、日本の実力 GDPの実際は

表2~表6 ドル換算の国別GDPも一人当たりのGDPも日本の地位は下落傾向が著しい。

表6は一人当たりGDPの2019年のデータ。直近では日本は34位33,899ドル(約500万円)。ちなみに韓国は31位

円換算で同じデータをグラフにしても 表7 下落傾向は間違いない。それは異次元金融緩和で起こる円ドルの金利差を背景にして輸出企業が得をするという過去のスキームとは状況が違って来たから。もう一つの要因としてエネルギー価格の高騰や外国人労働者が日本を避けるようになったということも要因の一つだ。

結論 ・GDPが増えないのは日本が国際競争力を失ったからではない。日本は引き続き世界からお金を稼ぎ続けているのだが、その稼ぎが国内で使われて循環するということが少ないために、みんなの利益の合計が増えていない。理由:GDPは「付加価値額」だから。つまりみんなの利益の合計なのであって、お金が消費されながら社会の中を循環するほど大きくなる。逆にお金を消費に回さずため込む人が多くなるほど、世の中のビジネスチャンスは減りみんなの利益の合計も少なくなってしまう。

問題解決の方策は？

国内でお金を回す。解決の方策 1、若者の賃金アップ 2、女性の就労促進と女性経営者の増加 3、外国人観光客の消費増加

人口減少の課題について

新生児数はベビーブーム時代の40% 人口減少は需要数量と労働力が減る。景気低迷の主因は少子化だ。(デフレの正体)第一次ベビーブーマー約800万人 2023年の日本の総出生数68,5万人 当然、人手不足になる。

労働力不足を解決しようと、外国人労働者(移民受

け入れ)政策を検討してもすでに遅い。

理由:中国や欧米だけではなく、東南アジアやインド、ラテンアメリカも近年は少子化が進んでいる。タイはすでに労働力を日本に出さなくなっているし、ベトナムは近い将来、少子高齢化が進展することが明らかとなっている。(今は経済成長の中で、中心となる労働力人口が若い、今の出生率で推移すると、これまで日本が経験してきたような高齢化社会が到来する。事実、今ベトナムから介護人材が多数日本に入ってきているが、それは将来の自国の人材確保を念頭に来ている)

まとめ 経済に対して政治ができることはあるか?
・意見や感情の前に事実をふまえる事、そしてその事実に応じて解釈を変えていくこと(上書きしていくこと)が為政者には必要だ

養老孟子 :「日本人は小さい時から学校でも社会でも『みんなで考えましょう』と教育されてきた。でもどうやってみんなで考えるのでしょうか?動作ならみんなで合わせることもできるが『考える』のは一人一人ではできない。つまりみんなで考えるとは「自分では考えず、みんなの考えに合わせる」ことなのだ。みんなで考えることが「多数派の意見を自分の考えとして、とり入れる事なのであれば、真偽を判定する能力を鍛えず、「正解」とされるものを暗記するだけという習慣がはびこっている。」(これは政治についても同じ) 同調圧力・現実認識能力・アベノミクス崇拝と検証の無さ

・何かを為そうとするときに、どういう形で、そこにアプローチするかで、社会が動くか否かが左右される。それに気づいた人たちが時代を切り開いていくのだと感じる。日本人の実力というのはそこにこそあるのでは? それは現代の日本の若者たちの中に少しづつ芽生えているのだと自分は信じている。

・藻谷浩介 この国の多くの人たちの様に「争いを嫌い、足るを知り、自制を良しとする庶民が、若い世代を中心に静かに、国や文化を超えてゆっくりと増えている。これこそが日本の実力なのだ」

資料として表1~表7まで頂きましたが、紙面の都合で割愛させていただきました。資料を希望の方は会報委員に連絡下さい。

ニコニコBOX

津田 望 親睦担当部員

神子 恒 渡辺会員、卓話ご苦労様です。

朝月真次郎 渡辺会員の政治風土と日本経済の卓話をお聞きして。

相川恵津子 //

新橋悠実瑛 //

津田 望 //

飯島由美 //

栗原典子 //

志波生朗 //

白石幸久 //

山下 厚 //

渡辺 務 卓話をさせて頂いて。

* > 1, 000円 計 11, 000円

出席報告

飯島由美 出席担当部員

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	38/37	24	9	4	64.86%
前回	38/37	28	7	3	75.67%
前々回	38/36	25	11	2	69.22%

4月 100%出席者

相川 朝月 飯島 榎本 岡田 岡元

小野 神子(勝) 神子恒 久保 志波

白石 新橋 須藤 高橋 津田 平川

星野 山下 若鍋 渡辺(哲) 21名